

01 総務部

02 開発建設部

03 財務部

04 運輸部

仕事の

窓

平良港トゥリバー地区が

土木学会環境賞を受賞

「トゥリバー地区の自然海岸の保全・活用とサンゴ移築による環境創造」

Point

「平良港トゥリバー地区整備事業」における環境保全・創造の取り組みが土木学会に評価され、「平成17年度土木学会環境賞・グループ（環境保全・創造に貢献した画期的なプロジェクトに授与）」を受賞しました。



トゥリバー地区全景

本事業は、沖縄県のリゾート計画に対応した海洋性レクリエーション拠点の整備を目的とした「平良港「トータルリゾート計画」」として平成5年度より宮古島市（旧平良市）と国が協力して整備を進めています。

自然環境の保全・創造の取り組み

出島方式による

自然海岸の保全

環境保全及び水辺の特性を活かした景観形成や親水性を確保するため、既存の海岸線と埋立地の間に水路を設ける「出島方式」とし、自然海岸を保全しました。

サンゴ移植による

自然環境の保全・創出

防波堤建設で消滅するサンゴ

群体の二部をトゥリバー地区の親水防波堤に移植することにより、サンゴの保全と、移植先での新たな環境創造を図っており、移植サンゴのみならず自然着床したサンゴも増加しています。

自然石の使用による

サンゴ等の着床促進

親水護岸・防波堤の被覆石には、サンゴ等の海生生物が着床しやすいように多孔質な琉球石灰岩を使用しています。

人工海浜（養浜）による

藻場の再生

人工海浜の沖側に高被度の藻場があり、整備にあたって濁り等環境に配慮して施工した結果、これら周辺の藻場が健全に保全され、人工海浜でも早期に藻場が再生しています。

自然環境の活用

水路及び周辺の自然環境の活用
シーカヤックを通じて探検気分を味わいながら、水路に残された

自然を身近に感じて体験学習ができることも、きのこ岩などの海岸地形や戦時中の特攻艇秘匿壕跡等の史跡も見学でき、歴史や平和学習としても活用できる場所であるため、地元小学生や県外旅行者を対象に試験的に自然体験学習会を実施しました。

人工海浜の自然環境の活用

人工海浜に再生したアマモ場は、水際線の近くまで良好な藻場が形成されていることから、安全に生物観察・採集ができるため生物観察会に適しており、地元小中学生を対象にした生物観察会を試験的に実施しました。

なお、環境保全・創造の取り組みや自然学習会の実施が地元にも注目され、今年度より地元企業による自然体験学習会（シーカヤックによる水路散策）と人工海浜での藻場観察会が事業展開されました。



水路を活用した自然体験学習



表彰状とトロフィー



サンゴ群体の移植状況